

## 平成23年度 3年次研修 授業研究 美術科学習指導案

日時 平成23年9月30日 3、4限

対象 第1学年7、8組

授業者 東京都立狛江高等学校 奥田陽子

場所 5階美術室

### 1 題材名 「アクリル絵画」

～今まで描いたことのない方法で、今まで描いたことのない絵を描こう！～

### 2 題材の目標

- (1) 制作を通して絵画の造形要素である、色・形・テクスチャーの美しさやおもしろさを再発見し、創造的な表現と鑑賞の能力と、生涯を通して芸術を愛好する心情を育てる。
- (2) アクリル絵の具やメディウムなど、描画材の特性や様々な表現方法を学び、個性豊かな表現の能力を育む。

### 3 評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 発想・構想の能力	ウ 技能・表現	エ 鑑賞の能力
題材の評価	積極的に新しい表現方法に挑戦し、意欲的に制作に取り組むことができる。	形・色・テクスチャーなどの造形要素の働きを意識し、美しさの調和を考えた創造的な構想を練ることができる。	アクリル絵の具やメディウムの特性を活かし、完成度の高い画面を完成させることができる。	制作や鑑賞を通して学んだことや、考えたことを適切な言葉によって人に伝えることができる。
学習活動に即した具体的な評価	①提示する資料や指導者の説明をしっかりと聞き、学んだことやアドバイスを制作に活かそうとしている。 ②積極的に様々な表現方法に挑戦することができる。 ③最後まで作品の質を高めようと根気よく丁寧に制作している。	①偶然できた表現のよさに気づき、それらを活かして作品の主題を発想することができる。 ②色・形・テクスチャーの違いを意識した4つの画面を構想することができる。	①下地（メディウム等）の違いによる表現の差を制作に活かすことができる。 ②アクリル絵の具の特性（重ね・濃度による表現の違い等）を制作に活かすことができる。 ③完成度の高い画面を完成させることができる。	①制作する中で下地や絵の具の特性を発見し、言葉で表現することができる。 ②絵画作品を鑑賞し、そこから感じたことや学んだことを適切な絵と文章で表すことができる。 ③制作を振り返り、自己の作品について説明することができる。

## 4 指導観

### (1) 題材観

授業で「絵を描く」というと主題（テーマ）を与えられ、それに対して構想を練り、下描きをして着色していくというのが定番の手順である。しかし、本当に純粹に「絵を描く」ということは、ただ平面上に意図的に色・形・テクスチャーのハーモニーを作り出すことをいう。

生徒は「アイデアが浮かばない」という悩みをよく口にし、デッサンや模写に比べると、自由に発想して描く絵画を敬遠する傾向にある。この原因として考えられることは、生徒は描画技法や表現様式に対する経験や知識が不足しているため、創造的な発想力に乏しいこと、また、「よい絵＝デッサンの整っている絵」などの固定概念に縛られており、自分の画力や発想に自信がもてないでいることが考えられる。

そこで今回は「今まで描いたことのない方法で、今まで描いたことのない絵を描こう！」ということを目標とし、アクリル絵の具の特性を生かして、様々な表現方法を試しながら、一枚の作品を完成させていく。今回の題材のポイントはあえて、主題をもたず、計画をしないで制作を進めることである。そうすることで、「アイデアが浮かばない」と制作意欲をなくす生徒をつくらず、全員が主体的に制作に取り組めるようにする。まずは手を動かし、目の前で画面上の色や形、テクスチャーのおもしろさや美しさを発見し、それらを活かし、主題をみつけていくことで、自らの想定できる範囲を超えた、今までに描いたことのないような作品を作り上げていき、また同時にアクリル絵の具の特性や描画技法についても体験的に学ぶことを目指す。

題材の工夫としては画面を4分割することがある。このことには、4種違った下地をつくりその表現の違いについて学びやすくすることと、「表情の違う4つの画面をつくる」という条件を与えることで、生徒が自然に多様な表現をつくりだすことができるよう導くという2つのねらいがある。

この題材を通して、「絵を描く」自由さと楽しさを再確認し、生涯を通して美術を愛好する表現と鑑賞の能力を育てたい。

### (2) 生徒観

自ら美術を選択した生徒集団なので、比較的意欲、能力ともに高い。対象クラスは学年の中では特に元気がよく反応も良いが、その反面、集中力が切れると私語が多くなってしまふ。メリハリのある授業展開の工夫が必要である。制作に関しては、指導者のアドバイスを自分で深く考えることなくそのまま受け入れてしまったり、「そうすれば成績があがるのか」と短絡的に考えてしまったりするなど、全体的に受動的な印象である。

### (3) 教材観

今回はアクリル絵の具を描画材として制作を行う。アクリル絵の具は水性で扱いやすく、速乾性があり、乾くと上から重ねて塗ることができるため、表現の幅の非常に広い絵の具である。また、今回は普段意識することの少ない、画面上のテクスチャーについても意識させるため、アクリル絵の具に混ぜて使うことができるメディウム（下地材）を使用し、画面に下地で表情をつけておく。また、このメディウムは接着剤の役割も果たすため、コラージュの表現を取り入れることにも適している。

#### <材料・用具>

授業者 張りキャンバス3号、ペーパーパレット、ローラー、ペインティングナイフ、水入れ、ウエス、  
メディウム（ジェッツ、モデリングペースト、ジェルメディウム）、砂、ボンド、コラージュ用  
の布・紙・ティッシュなど、ワークシート、観賞用スライド

生徒 筆記用具、教科書、アクリル絵の具、ファイル

## 5 年間学習計画における位置づけ

1 学年では広く美術の基本的な能力を身につけることを目的とし、1 学期には絵画（素描）とデザイン（平面構成）を行う。2 学期には絵画（アクリル画・木版画）、3 学期には映像メディア表現を扱う予定である。

## 6 題材の指導計画と評価計画

学習計画案（8 時間）＊生徒の状況を見て、場合によっては制作時間を延長する。

	学習活動・学習内容	評価方法	留意点・特記事項
導入 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵画の基本について</li> <li>基底材、描画材、絵の具</li> <li>絵画の造形要素</li> <li>題材説明</li> </ul>	ア①	<ul style="list-style-type: none"> <li>展色剤の違いと絵の具の特性については、スライドや実物を使って説明することで、より生徒の印象に残るようにする。</li> <li>指導者が一方的に話すのではなく、発問をする・プリントに書き込みをさせるなど、生徒が考えながら内容を理解できるように説明を行う。</li> <li>題材の目標（描いたことのない方法で描いたことのない絵を描こう！）を明確にし、制作の動機付けをする。</li> </ul>
展開① (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンパスの用意</li> <li>画面を4分割</li> <li>下地づくり</li> <li>A モデリングペースト</li> <li>B ジェッソ+砂</li> <li>C ジェルメディウム+布</li> <li>D ボンド+紙</li> </ul>	ア①②③	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具が全員分ないので、やるべきことをいくつか提示し、時間や手順を工夫しながら作業を進めるよう指導する。</li> <li>計画をしないことと何も考えずに制作することは違うことを説明し、自らの美意識を大切にしたい制作を行うよう伝える。</li> <li>説明を分割し、わかりやすくメリハリのある授業展開を行う。</li> <li>片付け指導を徹底する。</li> </ul>
展開② (2 時間) 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>着彩</li> <li>混色</li> <li>濃度の違いによる表現</li> <li>にじみ、洗い出し</li> <li>凸凹を活かした表現</li> </ul>	ア①②③ イ① ウ①② エ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の導入としてスライドにて、松本陽子氏「偶然を活かした描画法」の鑑賞を行う。</li> <li>本日の目標（挑戦→発見）を説明し、それらを意識して制作を行えるようにする。</li> <li>制作の中で感じたこと、発見したことをプリントに記入させる。</li> <li>本日はまだ、完成を意識せずに、様々な表現を試して、画面を変化させていくよう指導する。</li> </ul>
展開③ (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞レポート</li> <li>簡易模写等</li> </ul>	ア①③ エ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートを作成するにあたって、資料やインターネットを利用しやすいため、図書館で授業を行う。</li> <li>1 作品の絵画を観察したり調べたりすることで、絵画表現に対する理解を深め、制作に活かせるようにする。</li> </ul>
展開④ (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>着彩（つづき）</li> <li>完成→提出</li> </ul>	ア①②③ イ①② ウ①②③ エ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>偶然できた表情を活かして主題をみつけ（題名を考え）、意図に応じて作品を完成させていく。</li> <li>4 つの画面が違う表情になるよう、色・形・テクスチャーを意識させる。</li> <li>マスキングテープをきれいにはがし、題名と作品解説を書いて提出。</li> </ul>

8 本時（全8時間中の3、4時間目）

(1) ねらい

- ・様々な表現技法に挑戦し、画面を変化させていく中で、偶然生まれた美しい表現やおもしろい表情などを発見できる創造的な感性を養う。
- ・制作する中で、メディウムやアクリル絵の具の特性を体験的に理解させる。

(2) 本時の展開（50分×2）

	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠確認</li> <li>・前回までの復習</li> <li>・題材と本日の目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調の悪い生徒などがいないかよく確認する。</li> <li>・絵画の造形要素（色・形・テクスチャー）について。</li> <li>・松本陽子氏の作品を例に今回の題材の目標と本日の目標（挑戦→発見）を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の説明を、よく聞き内容を理解している。（観察）</li> </ul>
展開 (80分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の内容説明</li> <li>・着彩（1層目） 混色 濃度の違いによる表現 にじみ、洗い出し</li> <li>・凸凹を活かした表現（2層目） ローラー、スポンジなど</li> <li>・次回の制作に向けて メディウム、コラージュの追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着彩技法の説明については前で指導者が実演を交え説明する。 《机間指導》</li> <li>・提示した技法は全て試してみるように指導する。</li> <li>・下地や絵の具の使い方による表現の違いをより意識できるように、制作の中で感じたこと、発見したことをプリントに記入させる。</li> <li>・生徒の様子をみて、集中力が切れてきたところで、メリハリをつけるため、前に集めて、次の段階の説明を行う。</li> <li>・生徒の意図やこだわりを尊重して、よいところを伸ばせるようアドバイスを行う。</li> <li>・本日はまだ、完成を意識せずに、様々な表現を試して、画面を変化させていくよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現に積極的に挑戦している。（観察）</li> <li>・制作の中で自分なりの美しさやおもしろさについて考察している。（観察・プリント）</li> <li>・アクリル絵の具の特性を理解している。（観察・プリント）</li> </ul>
片付け (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付け</li> <li>・次回（鑑賞レポート）の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に使う人のことを考えて片付けを行うよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けをしっかりおこなっている（観察）</li> </ul>

(3) 授業観察の視点

〈目標〉 題材の目標、本時の目標との一貫性をもたせていたか。

本時の指導に指導観が生かされていたか。

〈展開〉 学習活動が本時の目標を達成するための活動となっていたか。

時間の配分は適切であったか。

〈学習活動に即した評価、指導上の配慮事項〉

本時の目標と評価項目と内容が一致していたか。

生徒の学習意欲を高める学習活動の工夫があったか。

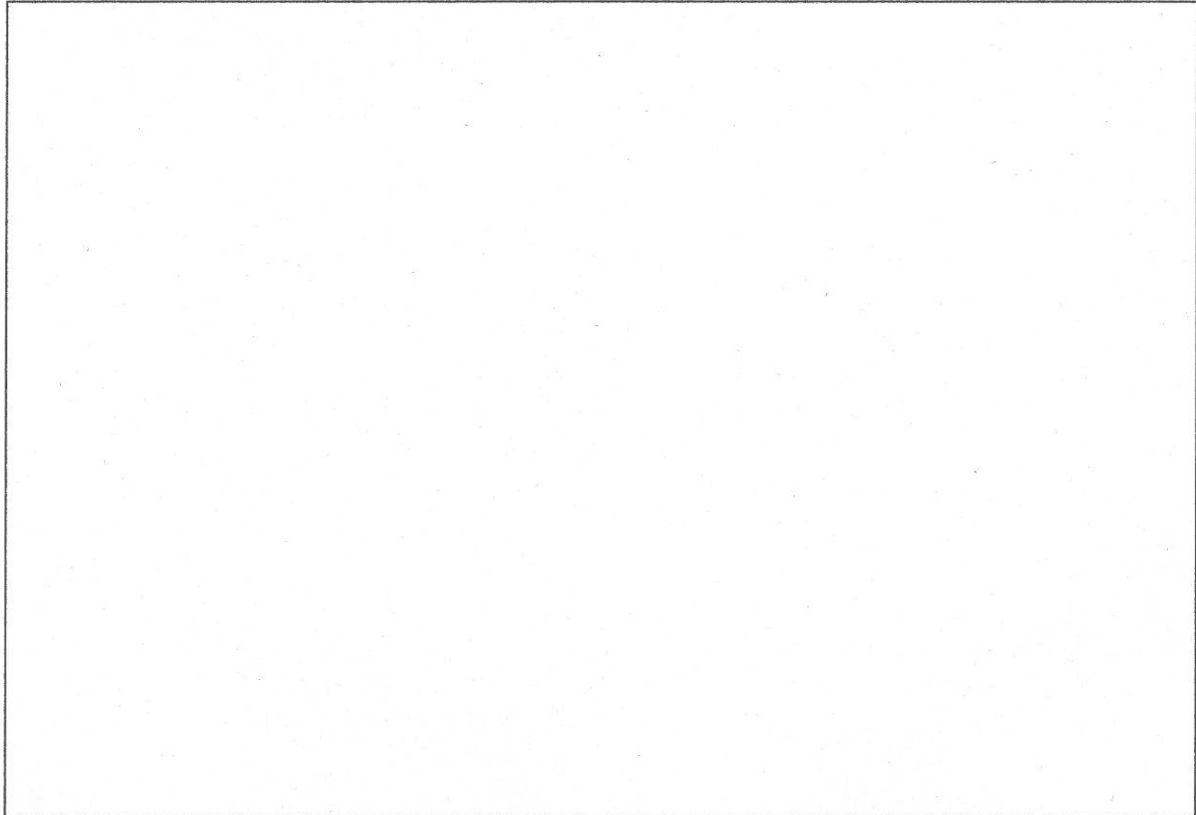
机間指導で公平、適切に個人へアドバイスが行われていたか。

## 絵画鑑賞レポート

1年 組 番氏名

今回の題材ではみなさん「絵画」に挑戦していますね。今日は自分のいいなと感じる絵を一作品選んで、その作品についてじっくり観察し、調べてみましょう。そしてぜひ自分の制作に活かしてください！（レポートは8割以上書くこと！）

- 1 あなたの好きな作品を1つ選んで、簡単に模写してください。  
（できるだけ正確に。比率も大まかに合わせてください。）



- 2 あなたの選んだ作品について書いてください。

作品名 \_\_\_\_\_

基底材、描画材、技法 \_\_\_\_\_

作品サイズ \_\_\_\_\_ × \_\_\_\_\_ 制作年 \_\_\_\_\_

所蔵場所 \_\_\_\_\_

- 3 その作品の作者について書いてください。

作家名 \_\_\_\_\_

国 \_\_\_\_\_ 生・没年 \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_

- 4 作品に描かれているものをできるだけ詳しく言葉で説明してください。  
(目の見えない人に説明するイメージで。主観は交えず、見えるものを客観的に伝える。)

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

- 5 あなたは何故この作品を選んだのですか？この作品のどこが好きですか？あるいは、どこが気になりますか？作品をみて感じたことを書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

- 6 この作品、作家について、調べてわかったことを書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---